

東大和市
地域福祉計画に関するアンケート
報告書

令和8年3月
東大和市

目次

1. 調査概要	1
2. 地域での暮らしや地域との関わり方について.....	2
3. 地域に関わっている団体・活動について.....	10
4. これからの福祉のために必要なことについて.....	17
5. 回答者の属性	19
6. 参考資料.....	23

1. 調査概要

調査の目的

東大和市では、市民の皆様が住みなれた地域で支えあい・助けあって、安心して暮らせるよう、地域福祉の更なる推進を目指して、地域福祉の土台となる新しい東大和市地域福祉計画(第7次)作成の基礎資料とするため、市民に「福祉」についての考えや地域活動の参加状況をお聞きするアンケート調査を実施した。

調査の方法

- 調査対象 : 市内在住の18歳以上の市民2,000人を無作為抽出
- 調査期間 : 2025年(令和7年)11月25日(火)~12月12日(金)
- 調査方法 : 郵送配布、郵送回収及び電子申請によるインターネット回収

回収結果

- 標本数 : 2,000件
- 有効回収数 : 761件(郵送回収470件、インターネット回収291件)
- 有効回収率 : 38.1%

調査の内容

- 地域での暮らしや地域との関わり方について
- 地域に関わっている団体・活動について
- これからの福祉のために必要なことについて
- 回答者の属性

報告書について

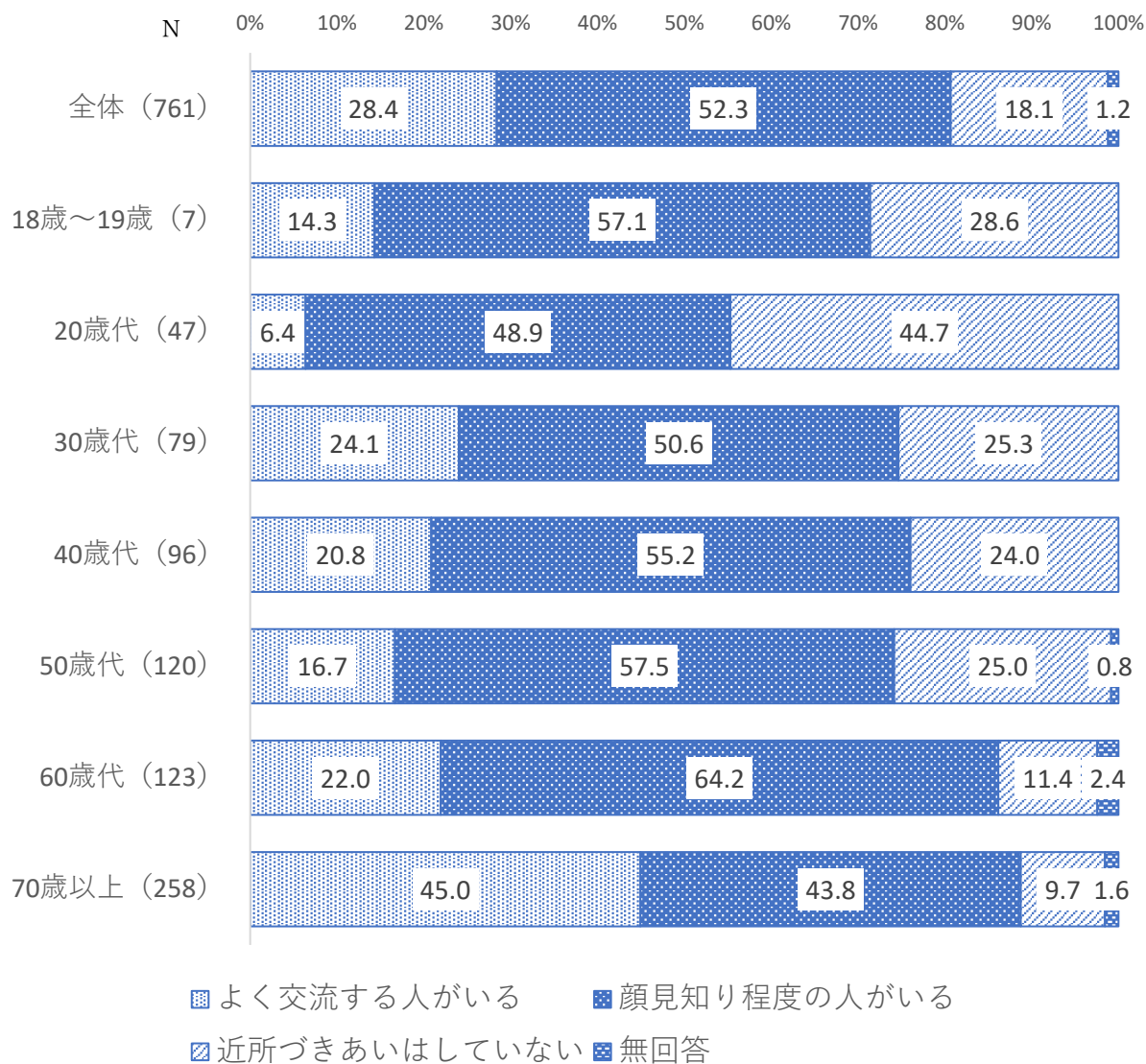
- 設問に沿って、回答結果を文章とグラフで示している。文章は全体的な結果と年代別の傾向を説明し、続いてクロス集計で特徴のある点について説明している。
- 設問によって回答者の総数は異なるところがあり、件数は、各グラフの左に「N(number of sample)」で示している。
- 回答率(%)は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位で表示しているため、合計が、100%にならない箇所があり、複数回答の場合は100%を超える。

2. 地域での暮らしや地域との関わり方について

問1 あなたは、どの程度近所づきあいをしていますか。

全体では、「顔見知り程度の人がいる」が52.3%と最も多い。

年代別では、「よく交流する人がある」が70歳以上で45.0%と最も多く、20歳代は6.4%と少ない。



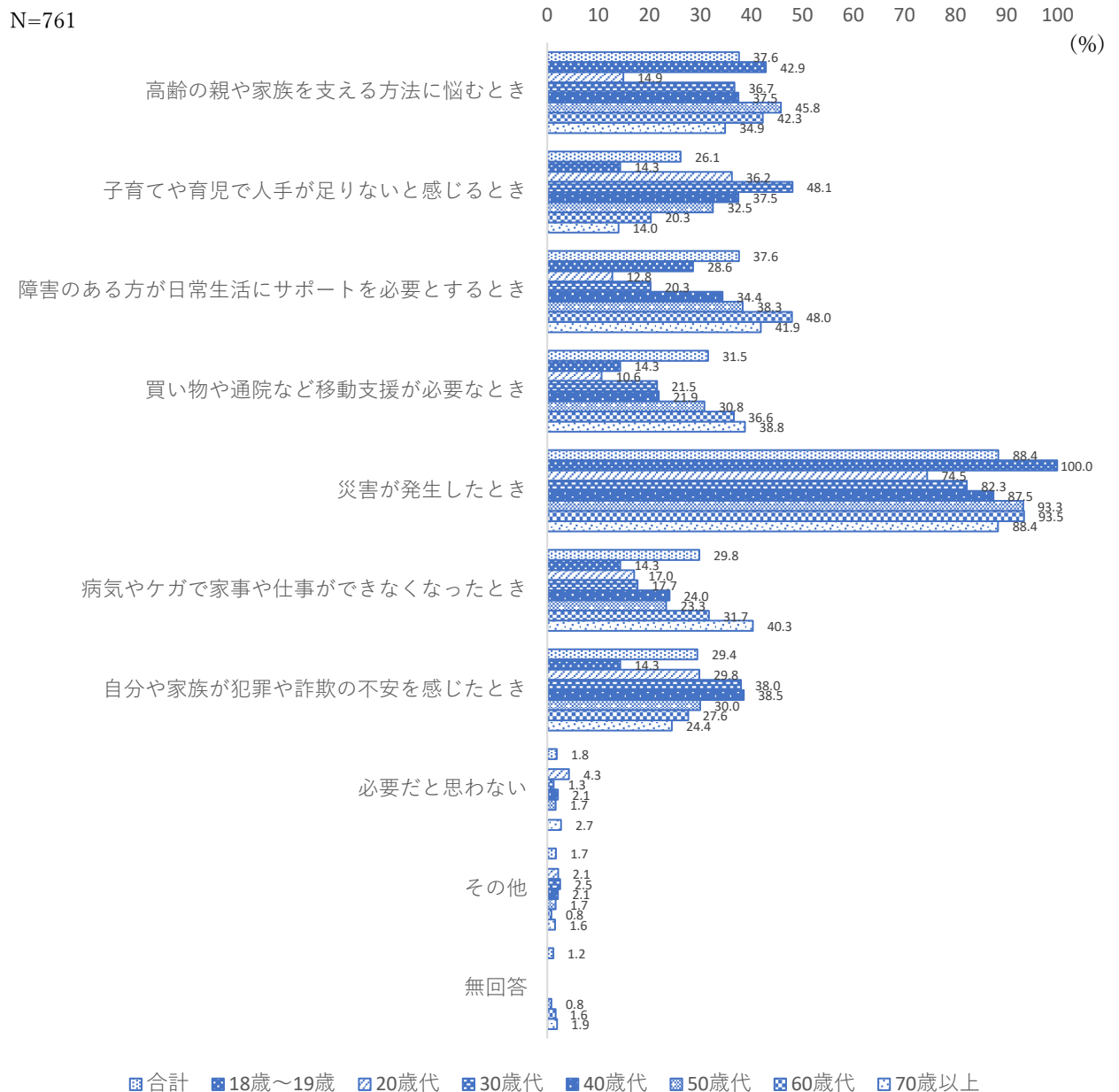
【関連する自由意見(問16)】

近所の人でも、どの位踏み込んでいいかわからない。何を必要としているか聞く程の関係になりにくい。／近所づきあいが昔と比較して減少しているので公的な機関での見守りがさらに重要になると考えます。

問2 あなたは、どのようなときに地域で生活していくための市民同士の支えあい・助けあいが必要になるとお思いますか。

全体では、「災害が発生したとき」が88.4%と最も多く、「高齢の親や家族を支える方法に悩むとき」「障害のある方が日常生活にサポートを必要とするとき」が37.6%と続いている。

年代別では、全年代において「災害が発生したとき」が最も多く、30歳代で「子育てや育児で人手が足りないと感じるとき」が48.1%と多い。



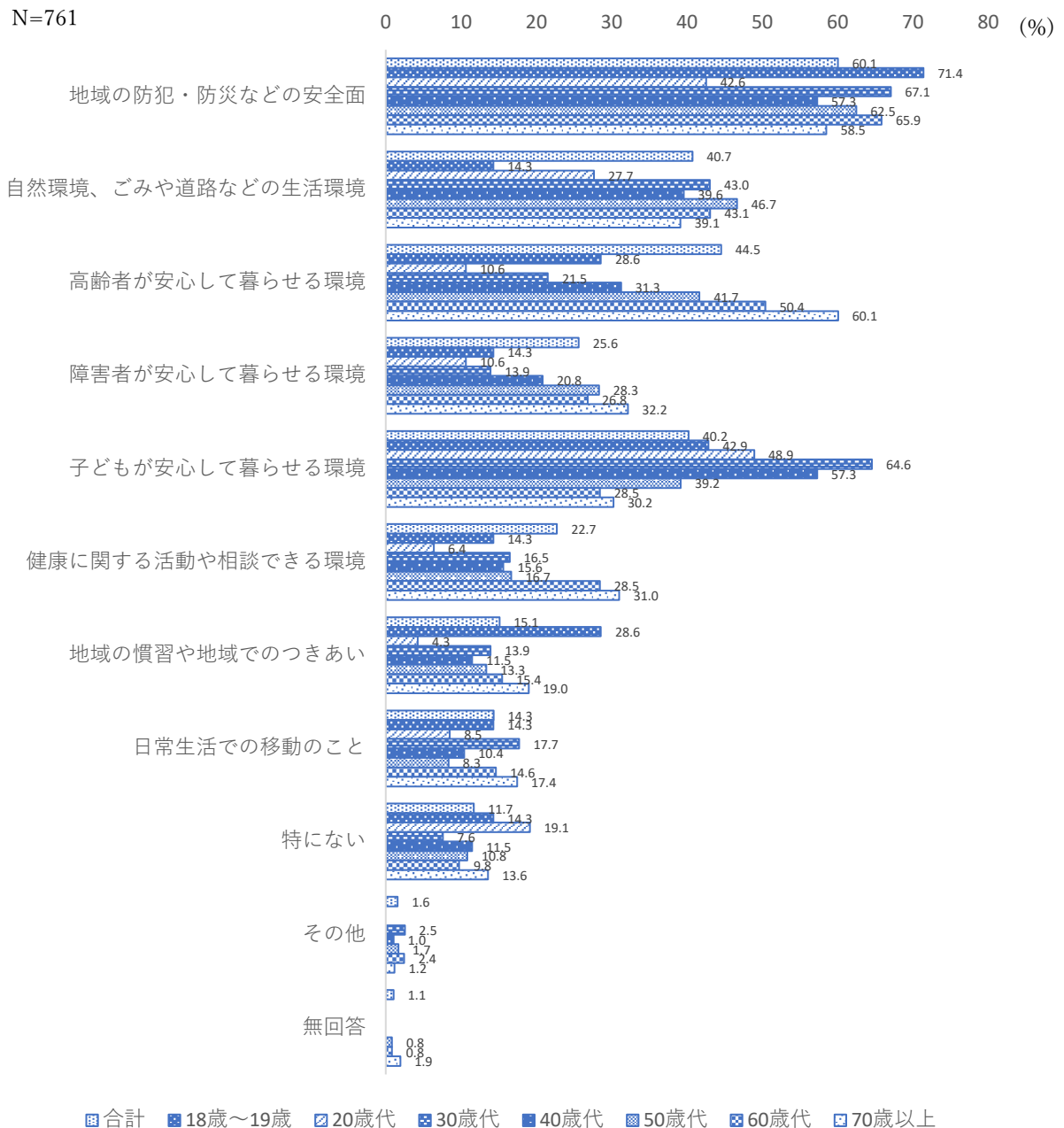
【関連する自由意見(問16)】

災害時には地域の協力が不可欠です。市民同士の共助がすすむように、つながりが濃くなるようにしてほしい。そのために何をやるのかどうしたら良いのかが今一つわからない。

問3 あなたは、住んでいる地域で、日頃から心配なこと、気になることがありますか。

全体では「地域の防犯・防災などの安全面」が60.1%と最も多く、「高齢者が安心して暮らせる環境」が44.5%、「自然環境、ごみや道路などの生活環境」が40.7%と続いている。

年代別では、30歳代で「子どもが安心して暮らせる環境」が64.6%と多い。



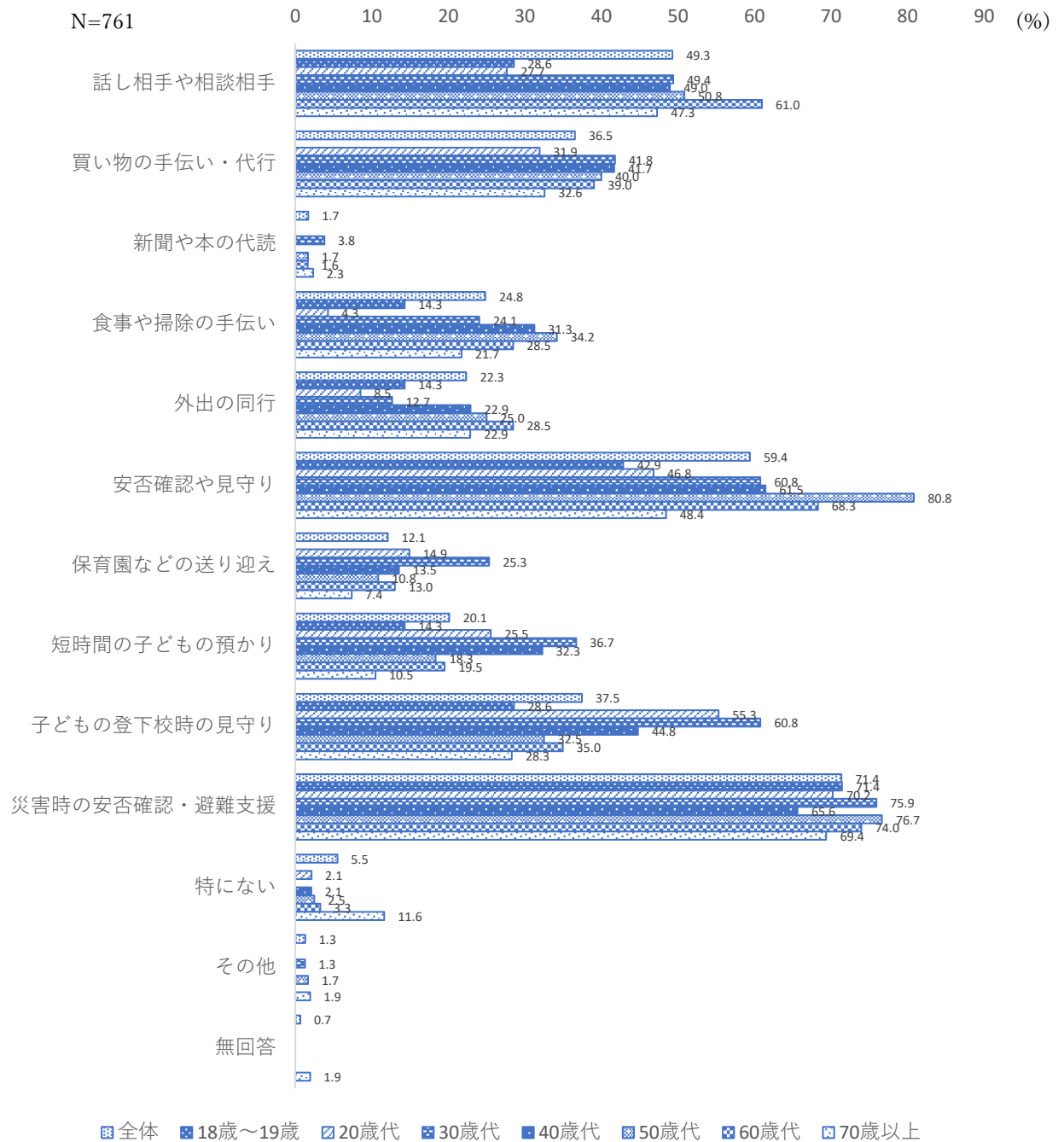
【関連する自由意見(問16)】

災害が発生しても具体的な避難場所すらかからない。／時々、車イスを使用しているが歩道が整備されていない所が多く、危険な時がある、平坦な安全な歩道にしてほしい。／小学生の遊び場が不足して小学生がかわいそう。

問4 高齢者や障害のある人、子どもなどが住む世帯に対する、地域による支援や協力で、あなたが必要と思うことは何ですか。

全体では、「災害時の安否確認・避難支援」が71.4%と多く、「安否確認や見守り」が59.4%、「話し相手や相談相手」が49.3%と続いている。

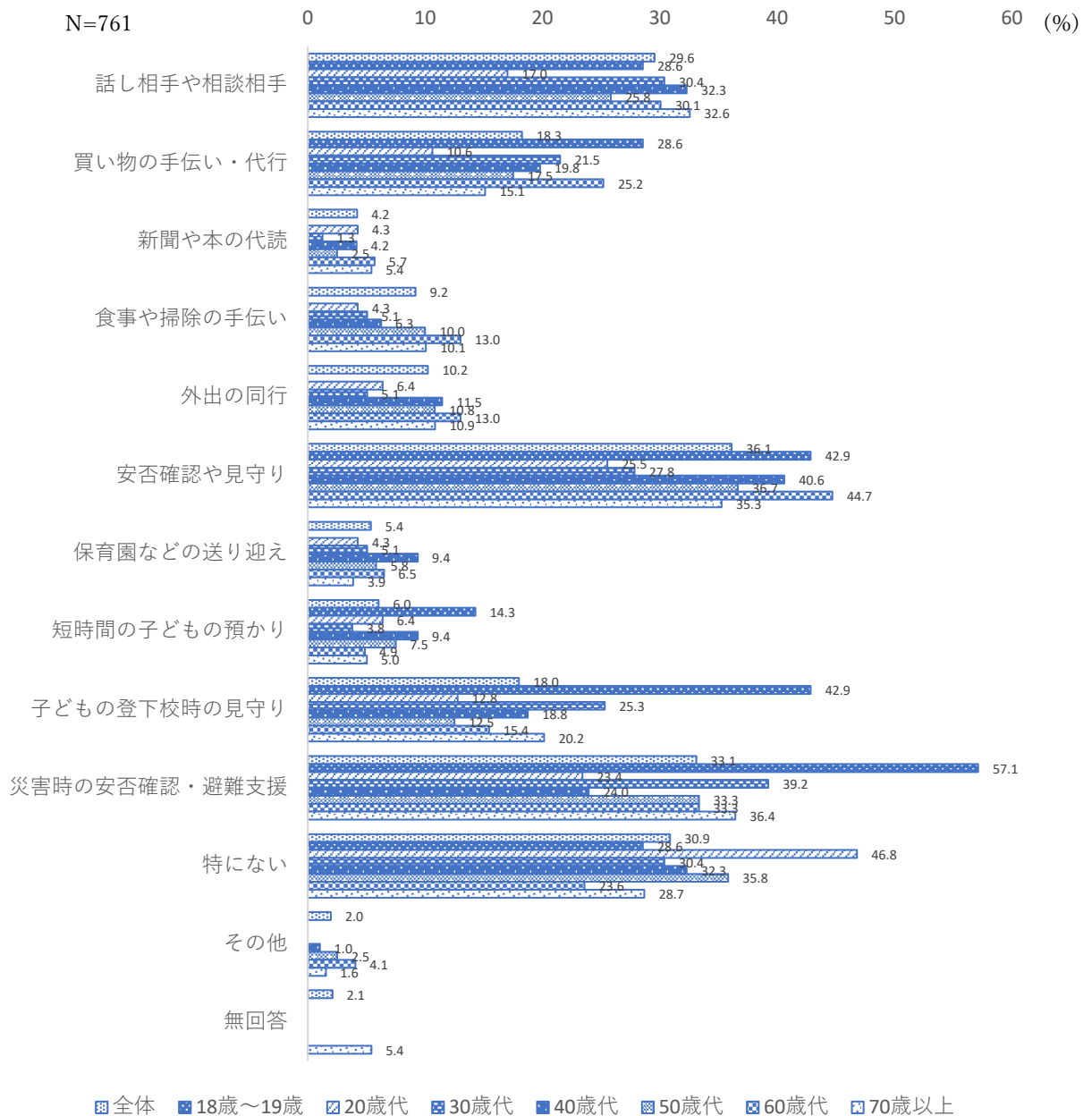
年代別では、50歳代で「安否確認や見守り」が80.8%、「食事や掃除の手伝い」が34.2%と多い。



問5 高齢者や障害のある人、子どもなどが住む世帯に対する、地域による支援や協力で、あなたができること(していることを含む)は何ですか。

全体では、「安否確認や見守り」が 36.1%と多く、「災害時の安否確認・避難支援」が 33.1%、「特にない」が 30.9%と続いている。

年代別では、20歳代で「特にない」が 46.8%と多く、「安否確認や見守り」が 25.5%、「災害時の安否確認・避難支援」が 23.4%と少ない。



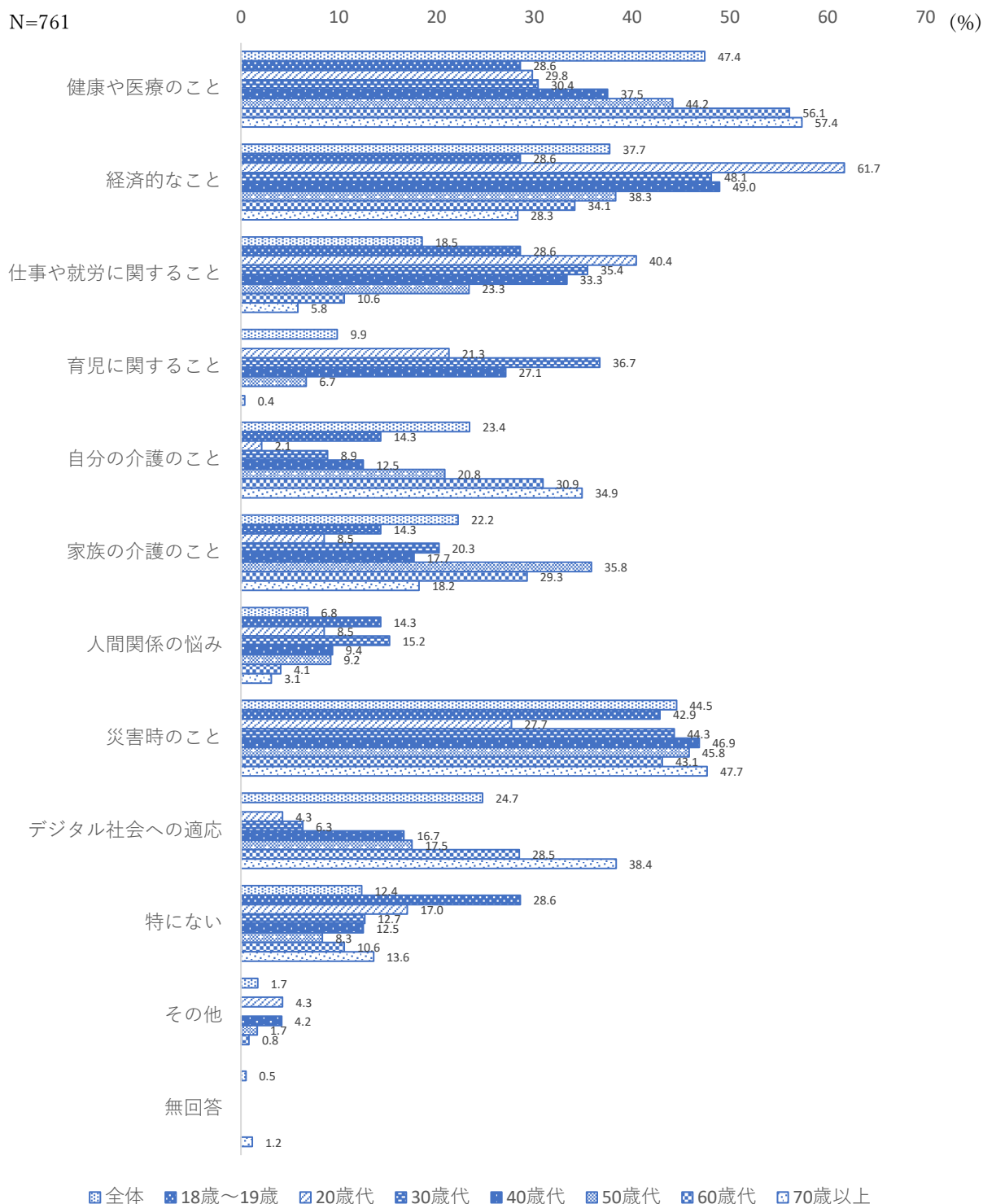
【関連する自由意見(問16)】

すきまの時間でも手伝えることがあるのがわかればもっと協力できることがあると手をあげる人が多くなると思う。決まった一定時間以上はむずかしい人が多いと思う。

問6 あなたは、日々の生活で悩み事や不安なことはありますか。

全体では、「健康や医療のこと」が47.4%と多く、「災害時のこと」が44.5%、「経済的なこと」が37.7%と続いている。

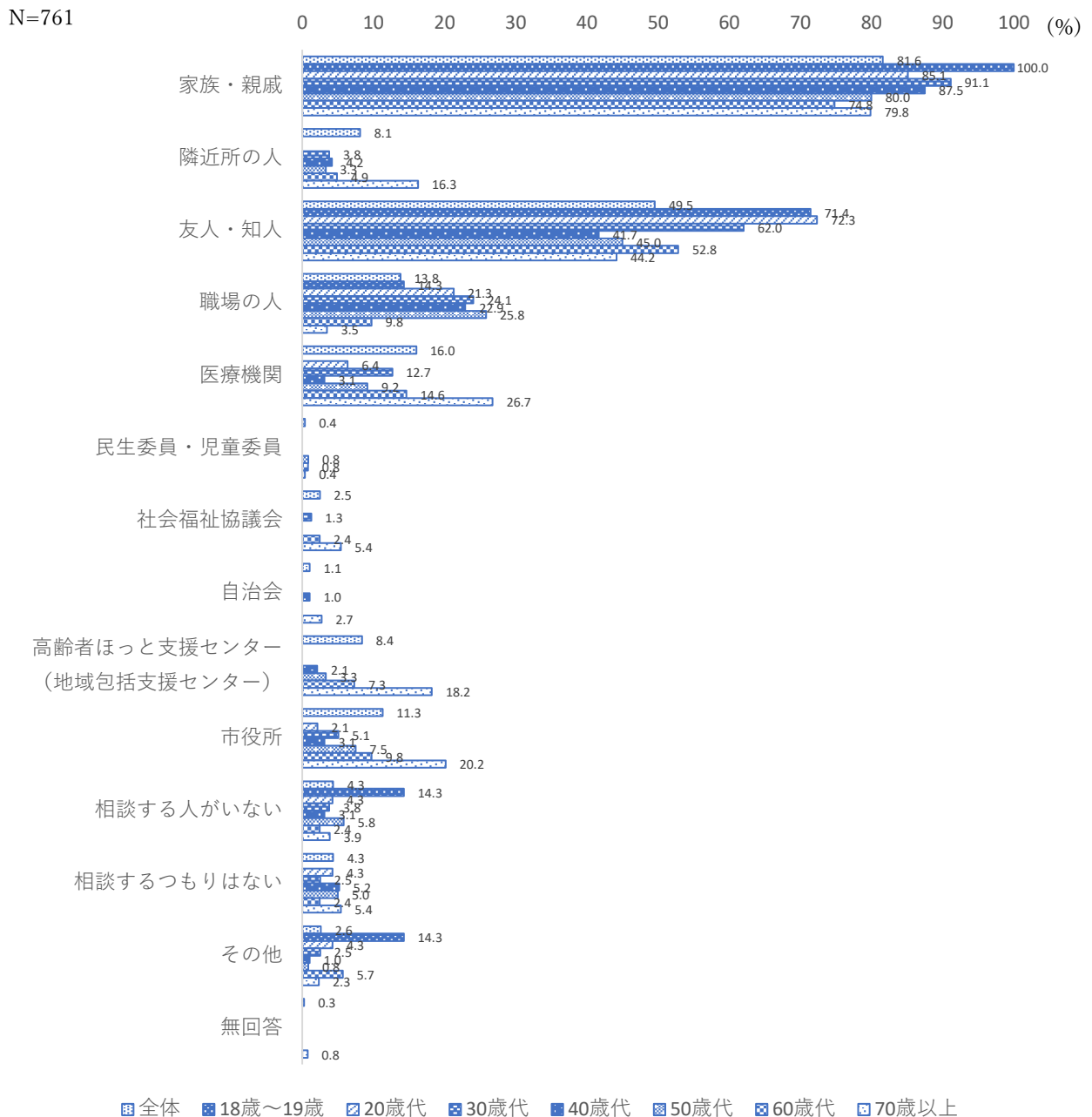
年代別では、20歳代で「経済的なこと」が61.7%と多く、「災害時のこと」が27.7%と少ない。



問7 日々の生活での悩みや不安を、あなたは主にどこに相談しますか。

全体では、「家族・親戚」が 81.6%と多く、「友人・知人」が 49.5%、「医療機関」が 16.0%と続いている。

年代別では、70歳以上で「医療機関」が 26.7%、「市役所」が 20.2%、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が 18.2%、「隣近所の人」が 16.3%と他の年代と比べて多い。



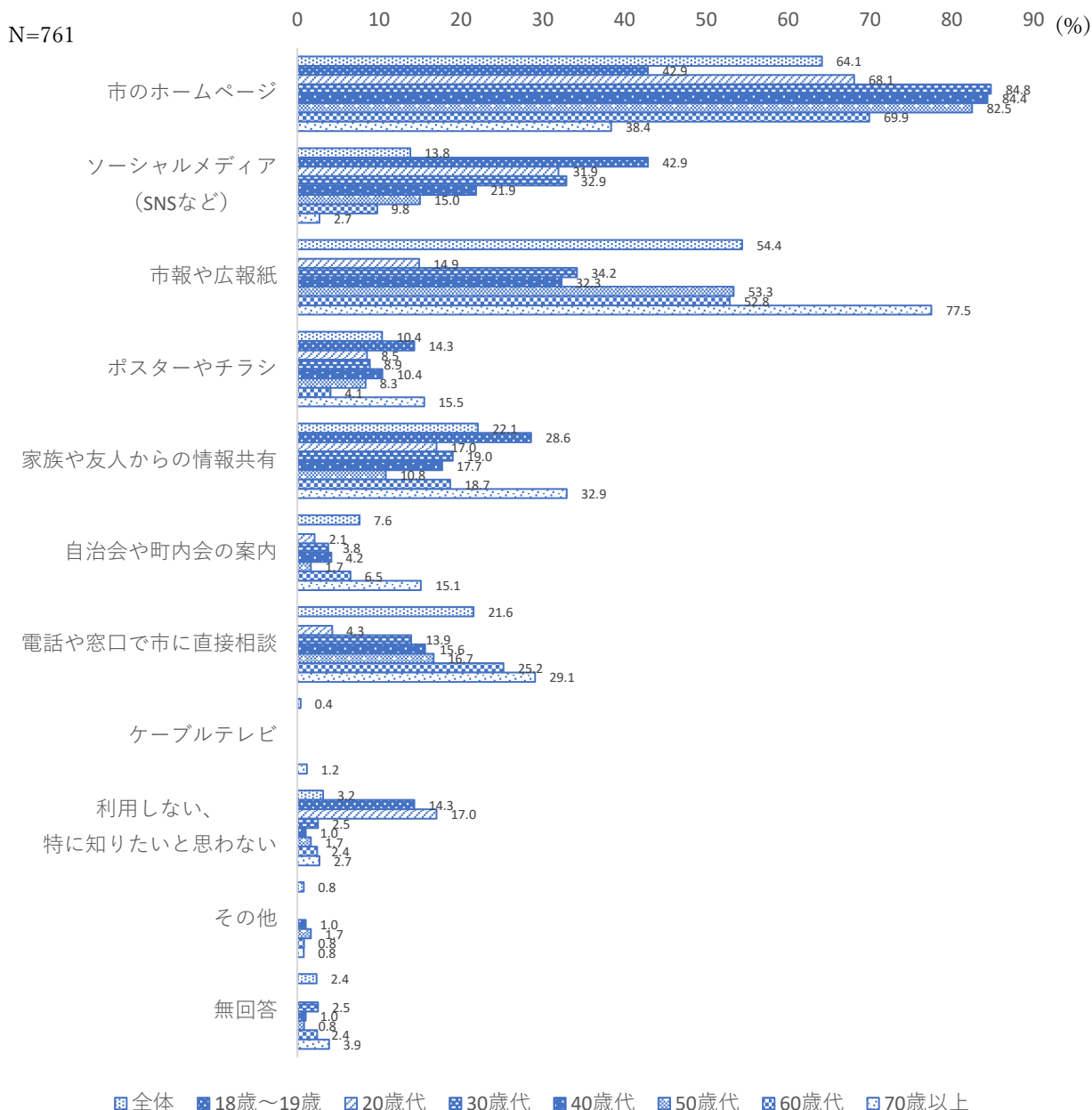
【関連する自由意見(問16)】

高齢者がどこに相談するかどの様な組織があるかもっとわかる様にしてもらいたい。よくホームページで確認して下さいとかあるが、高齢者にはわからない。

問8 あなたは、市の福祉の情報を知りたいとき、何を利用しますか。

全体では、「市のホームページ」が64.1%と多く、「市報や広報紙」が54.4%、「家族や友人からの情報共有」が22.1%と続いている。

年代別では、70歳以上で「市報や広報紙」が77.5%と多く、「市のホームページ」が38.4%、「ソーシャルメディア」が2.7%と他の年代と比べて少ない。



【関連する自由意見(問16)】

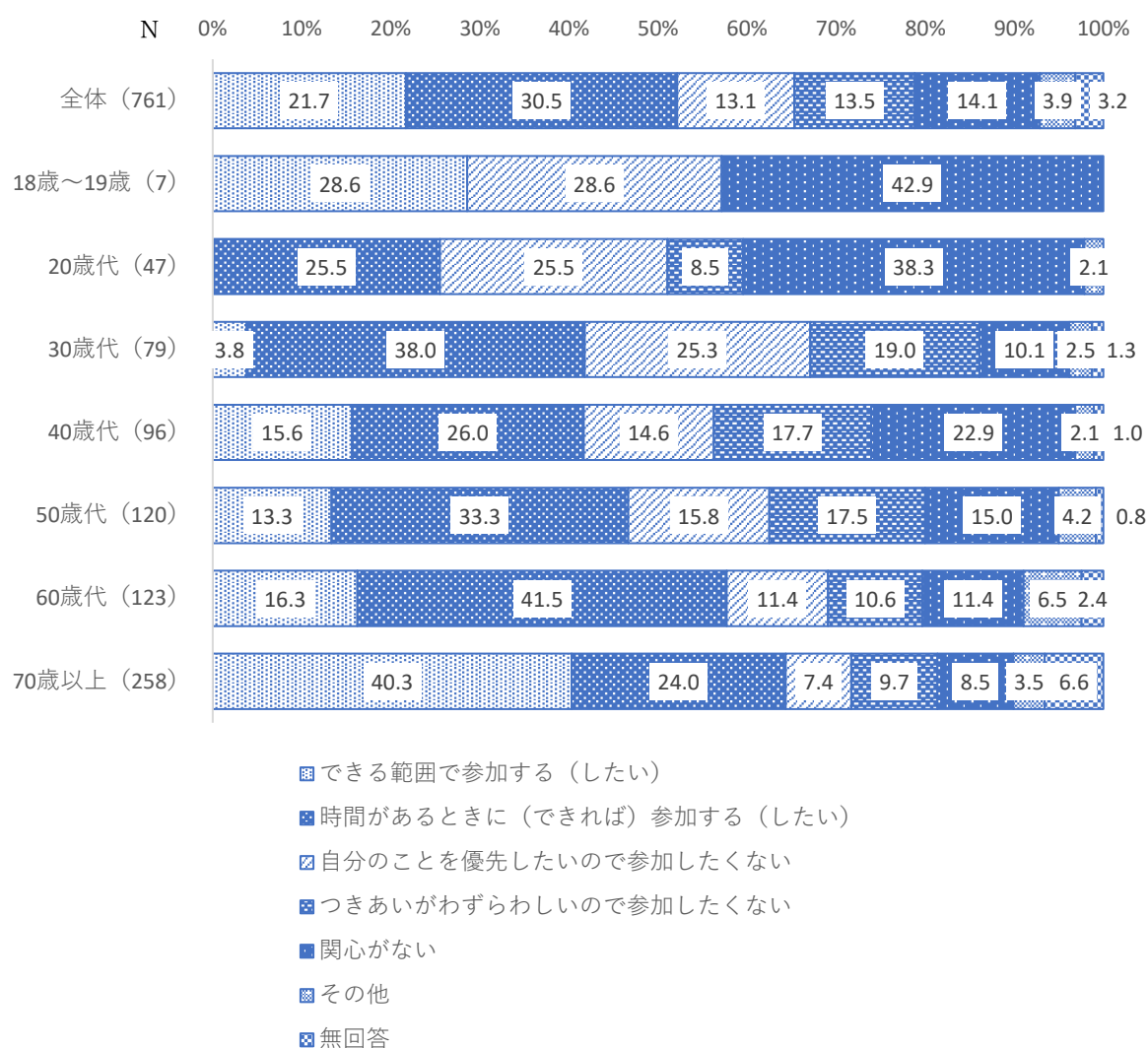
必要な人のもとへ必要な情報が行き届くシステム、仕組みが充実していることが求められているように思う。／夫婦のみ共働きをしていて地域との関わりが難しく、市のホームページだけでは十分な情報を得ることが出来ないと感じます。

3. 地域に関わっている団体・活動について

問9 自治会をはじめとする地域の活動について、あなたのお考えや状況に最も近いものはどれですか。

全体では、「時間があるときに(できれば)参加する(したい)」が30.5%と多く、「できる範囲で参加する(したい)」が21.7%と続いている。

年代別では「できる範囲で参加する(したい)」は70歳以上で40.3%と多く、また、「関心がない」は18、19歳で42.9%、20歳代で38.3%と多い。



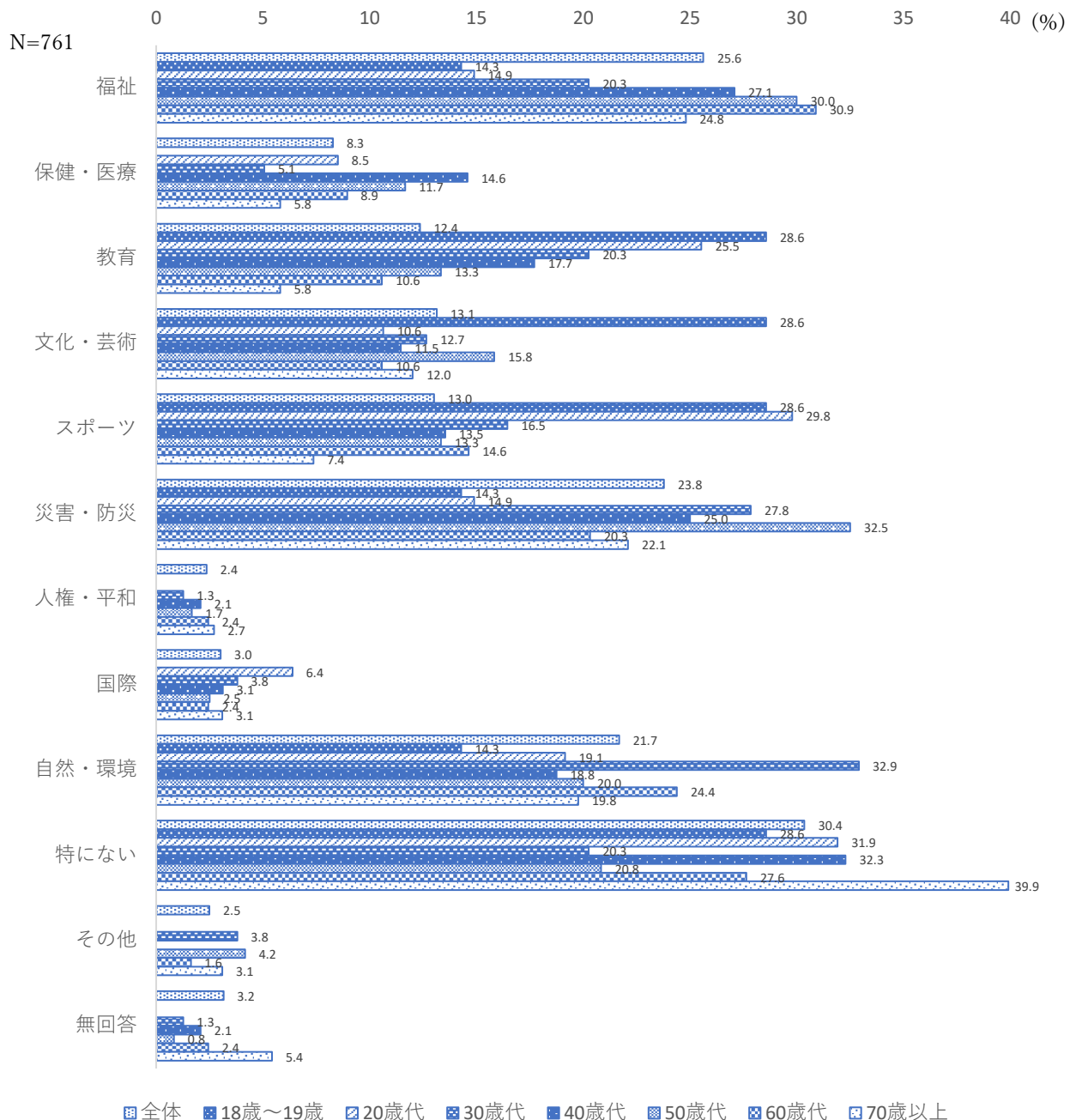
【関連する自由意見(問16)】

自治会がどんどん減っていきませんが、やはり自治会は必要だと感じます。若い世代や、引越して新たに加わる方々に、自治会の必要性が上手く伝わる広報活動が必要だと感じます。／自治会に加入しているがあまり必要性を感じない上に何をしているのかよくわかっていない。

問10 あなたは、どのような分野のボランティア活動に参加したい(できる)と思いますか。

全体では、「特にない」が30.4%で多く、「福祉」が25.6%、「災害・防災」が23.8%、「自然・環境」が21.7%と続いている。

年代別では、20歳代で「教育」が25.5%、「スポーツ」が29.8%と多く、「福祉」が14.9%と少ない。



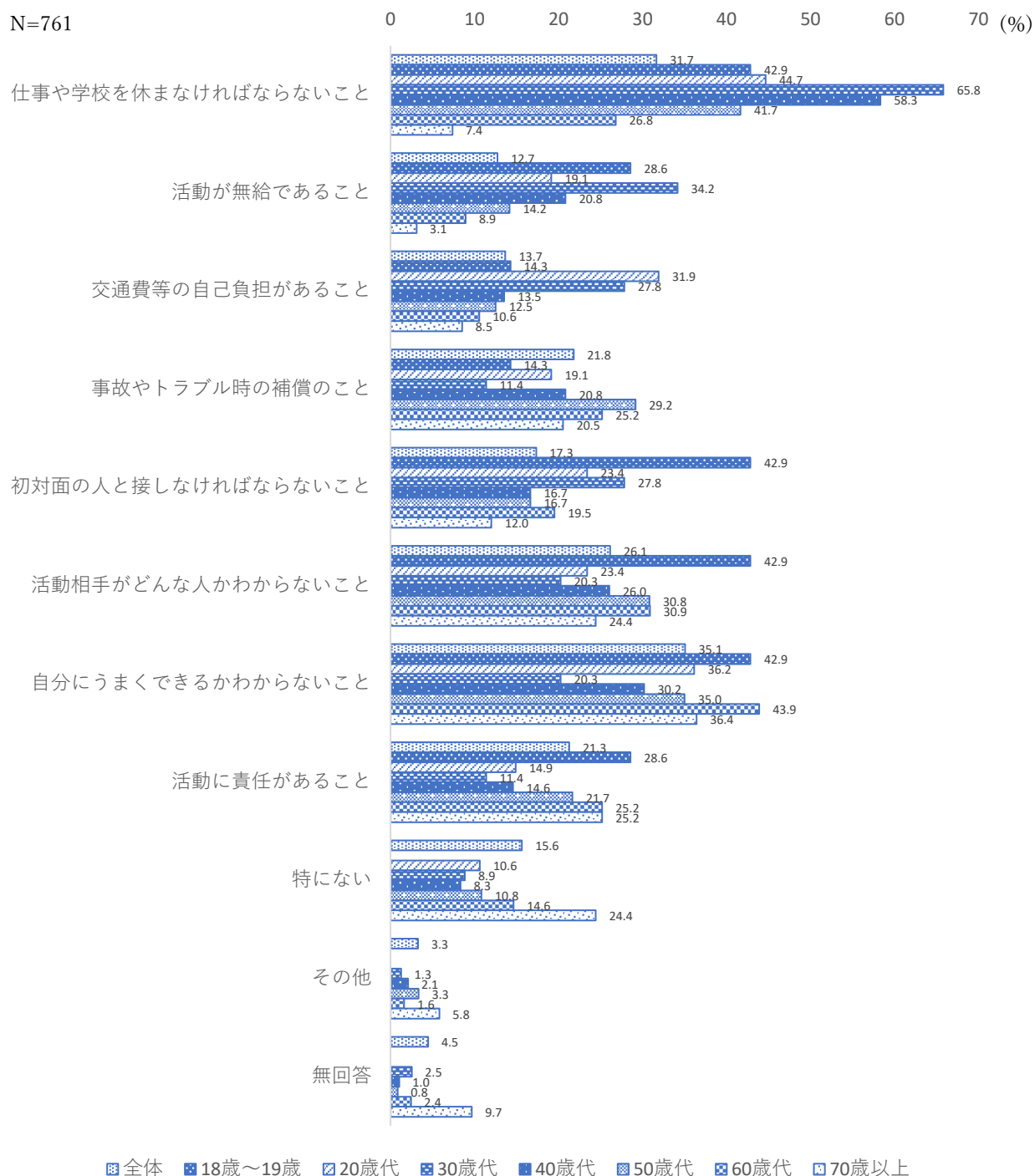
【関連する自由意見(問16)】

子供達の登下校の見守り(犯罪や交通事故の防止)をボランティアで行っていく必要があると思います。昔いた「緑のおばさん」のような、信号で見守る人を登下校時に。

問11 あなたは、ボランティア活動に参加するとき、不安や心配に思うことは何ですか。

全体では、「自分にうまくできるかわからないこと」が35.1%で多く、「仕事や学校を休まなければならないこと」が31.7%、「活動相手がどんな人かわからないこと」が26.1%と続いている。

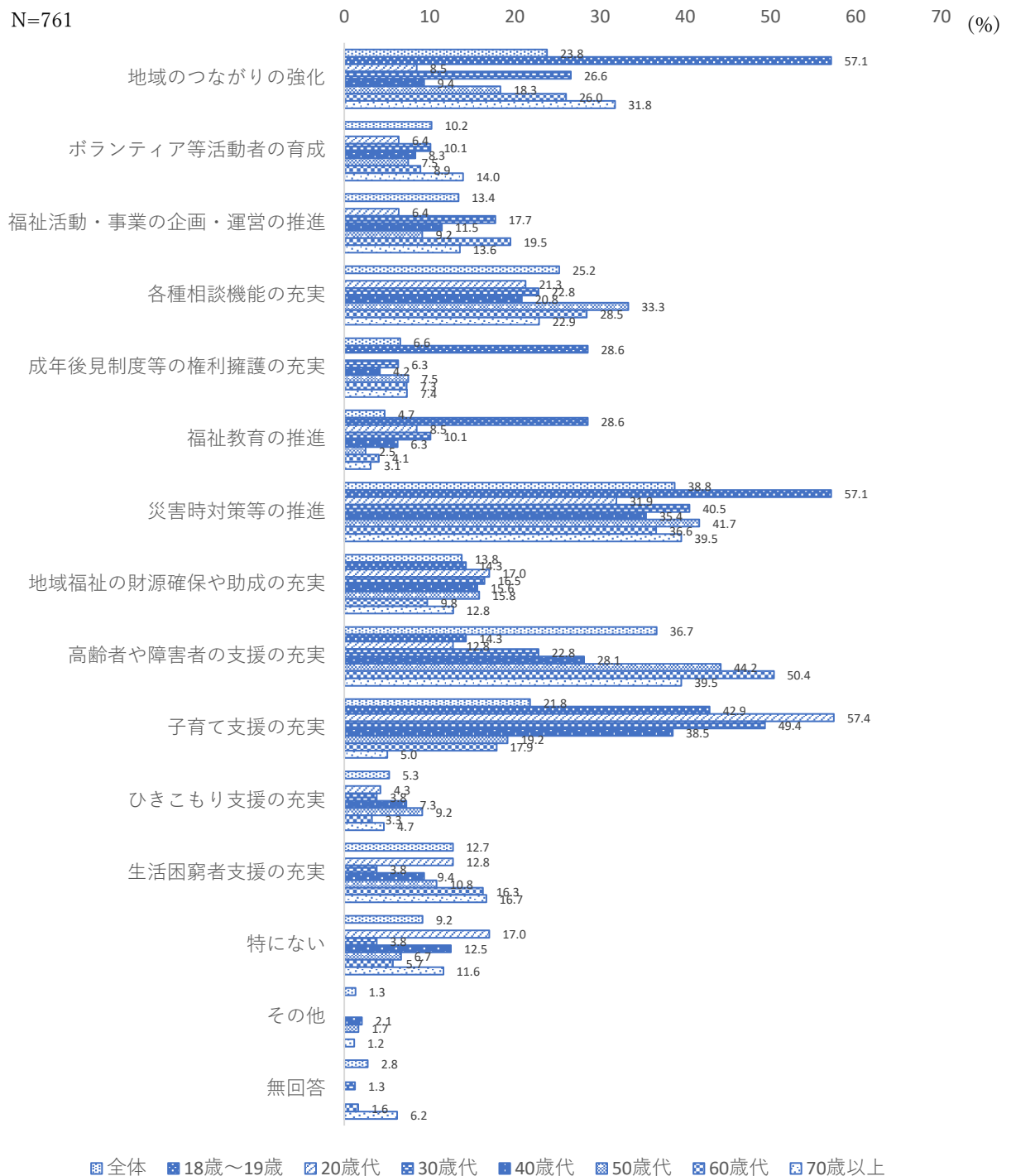
年代別では、30歳代で「仕事や学校を休まなければならないこと」が65.8%、「活動が無給であること」が34.2%と多い。



問12 あなたは、社会福祉協議会に今後どのようなことを期待しますか。

全体では、「災害時対策等の推進」が 38.8%で多く、「高齢者や障害者の支援の充実」が 36.7%、「各種相談機能の充実」が 25.2%と続いている。

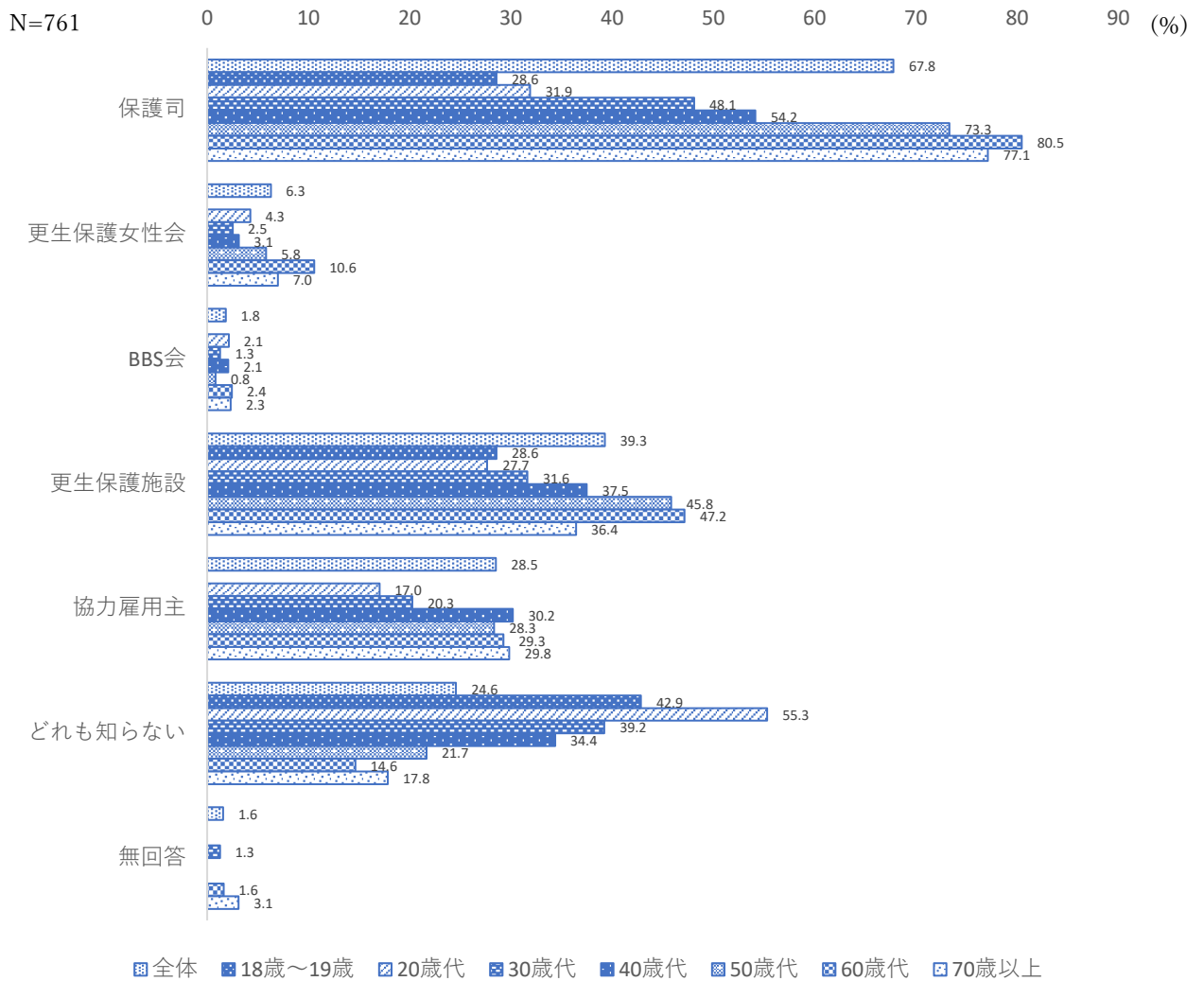
年代別では、20歳代で「子育て支援の充実」が 57.4%と多く、「高齢者や障害者の支援の充実」が 12.8%、「地域のつながりの強化」が 8.5%と少ない。



問13 あなたは、犯罪や非行の防止及び犯罪や非行をした人たちの更生を支援するために、協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。

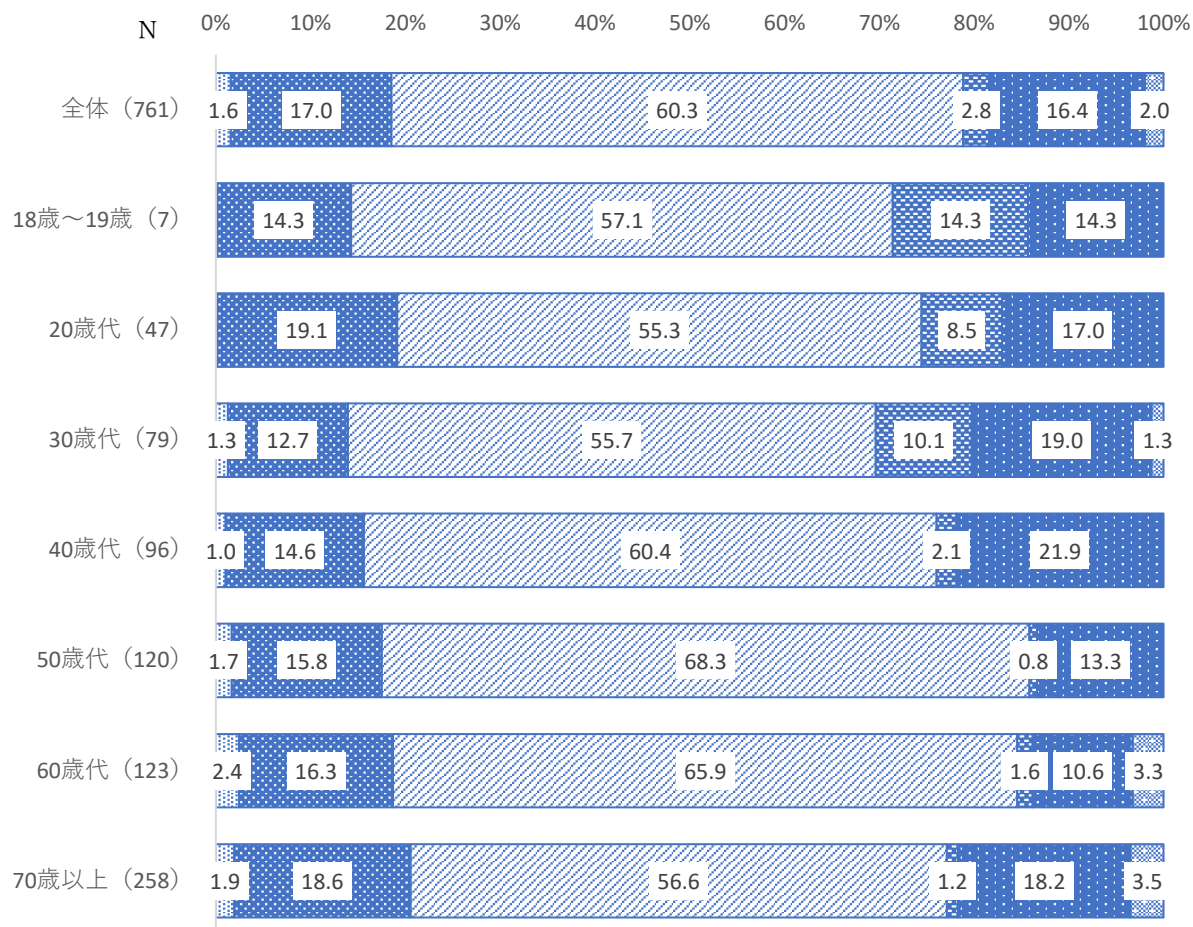
全体では、「保護司」が67.8%と多く、「更生保護施設」が39.3%、「協力雇用主」が28.5%と続いている。

年代別では、「どれも知らない」が、20歳代で55.3%と多く、60歳代で14.6%と少ない。



問14 保護司等の活動への協力について、あなたはどのように思いますか。

全体では、「必要性を感じるが、具体的な協力は難しい」が60.3%と半数を超えて多い。

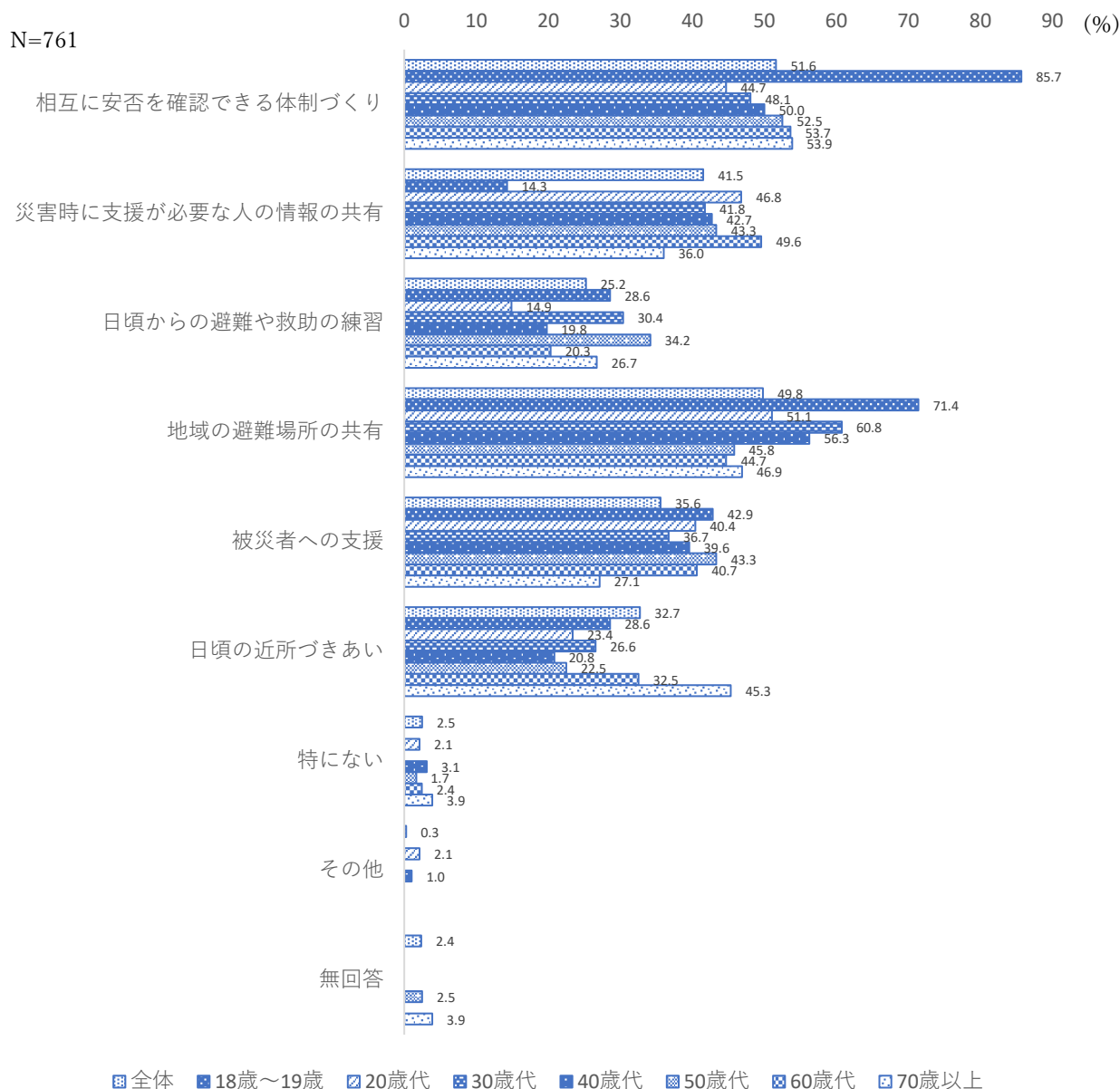


- 積極的に協力したいと思う
- できれば協力したいが、自分にできることがわからない
- 必要性を感じるが、具体的な協力は難しい
- 協力する必要はないと思う
- わからない
- 無回答

問15 防災対策として地域の活動で重要だと思うことは何ですか。

全体では、「相互に安否を確認できる体制づくり」が 51.6%で多く、「地域の避難場所の共有」で 49.8%、「災害時に支援が必要な人の情報の共有」で 41.5%と続いている。

年代別では、18、19 歳で「相互に安否を確認できる体制づくり」が 85.7%で多く、「災害時に支援が必要な人の情報の共有」が 14.3%で少ない。

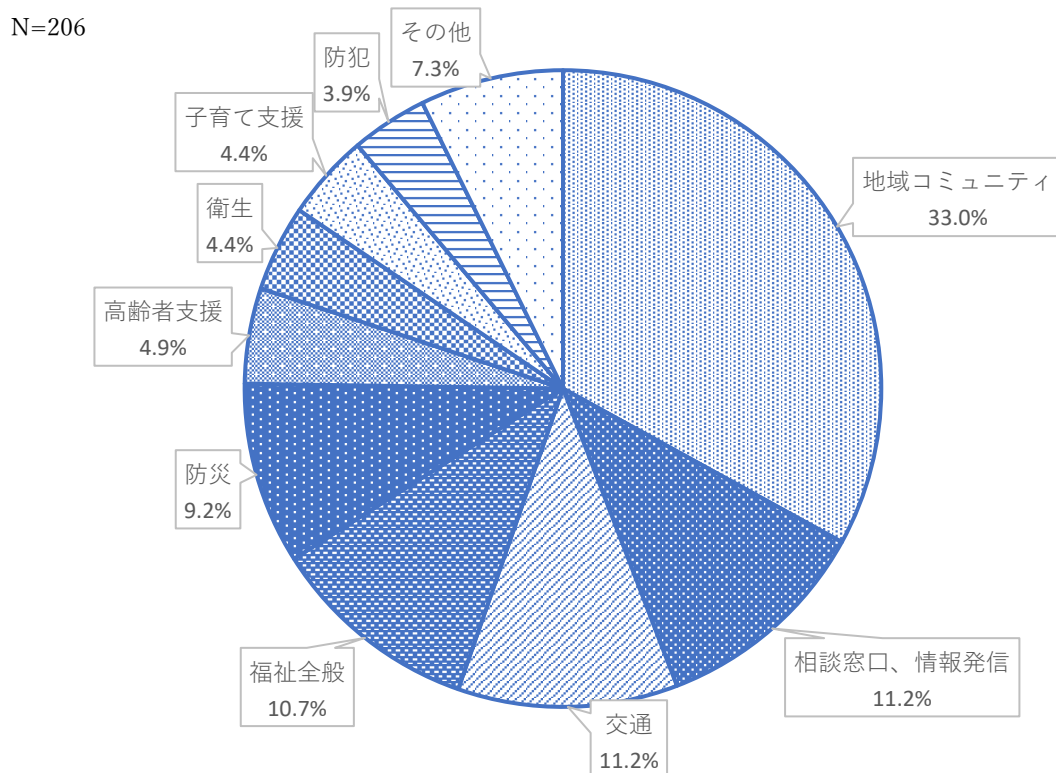


【関連する自由記述(問16)】

災害がおこった時などは、TVなどで紹介されているように、日頃の近隣とのつながりが重要と思われませんが、仕事があったりすると難しい方、又、自宅から出たがらない方もいらっしゃると思いますので、例えば防災訓練などを行い、日頃からのコミュニケーション作りができれば良いと思います。

4. これからの福祉のために必要なことについて

問16 市民同士の自主的な支えあい・助けあい、福祉サービスの充実、地域の困りごとなど、地域福祉に関するご提案やご意見をご記入ください。



○地域コミュニティ 68件(33.0%)

町内会活動などがなく、地域での活動が不明である。自分でもできることであれば参加したと思うが仕事をしていて平日日中不在である、幼い子どもがいる現状でも可能なサポートがむずかしい。／隣近所とのつき合いがないことや社会とのつながり(仕事)や友人、知人がいないと孤独になりやすい状況にあると思います。／地域の福祉に関する活動をしている市民団体のことを行政がよく把握し、財政面を含めた支援等を拡充する必要がある。

○相談窓口、情報発信 23件(11.2%)

全市民に同じ情報が行き届くことが大事。届くのであればデジタルでなくアナログな方法も残し、使っていく。情報共有方法も多様化する。ひとつの方法ではとりのこされる世代や人々がいる。／例えば両親の介護が必要になった場合など、どこに相談をしたら良いのかわからない人が多いと感じる。わかりやすい一覧になったものがあるとよい。／福祉サービスの充実は感じますが、まずどのようなサービスがあって、利用する時の手続方法などを分かりやすくしておく必要があると思います。それが安心にも繋がると思います。

○交通 23 件(11.2%)

道路の安全性に欠けている。車いすで移動されている方や杖を利用した歩行者の歩く道幅が狭い所が多い。バス停のある場所の通りづらい歩道もある。／車の運転免許がなくても生活できる社会作り／ちょこバスのルートを市全域に行き届くようにしてほしい。

○福祉全般 22 件(10.7%)

今後「高齢化」が加速することに伴い「福祉サービスの充実」を実感できる体制づくりをより高めていくことが必要だと思います。／人手不足への対応。働きやすい給与・労働環境の改善、外国人の受け入れをととのえる。

○防災 19 件(9.2%)

災害時の避難場所のルールが分からない／個人情報の点で難しいかもしれないが、支援を必要とする人の情報(どこのお宅か、ぐらゐの基礎的な情報でよいので)があると、何か起きた時に力になれると思う。方策を考えてほしい(特に自治会のない地域など)

○高齢者支援 10 件(4.9%)

高齢者福祉サービスの充実／ひとり暮らしをされている高齢者の支援や見守りを充実させていただきたいです。

○衛生 9 件(4.4%)

空缶などゴミの不法投棄が増えており、防止策の強化をお願いしたい。／歩道や街路樹にポイ捨てのゴミが多過ぎる。

○子育て支援 9 件(4.4%)

若者の安心して子育て、出産できるまち作り。／育児中の社会的弱者の支援をしてほしい。市民の子が大きな心配、大きな苦勞なく学業に専念できるよう生活してほしい。

○防犯 8 件(3.9%)

老人が多い地区なので防犯面、生存確認など普段から見守り、パトロールなど頻繁にした方が良いと思う。／防犯対策。不審者への対策に関して東大和市はかなり手薄と考える。

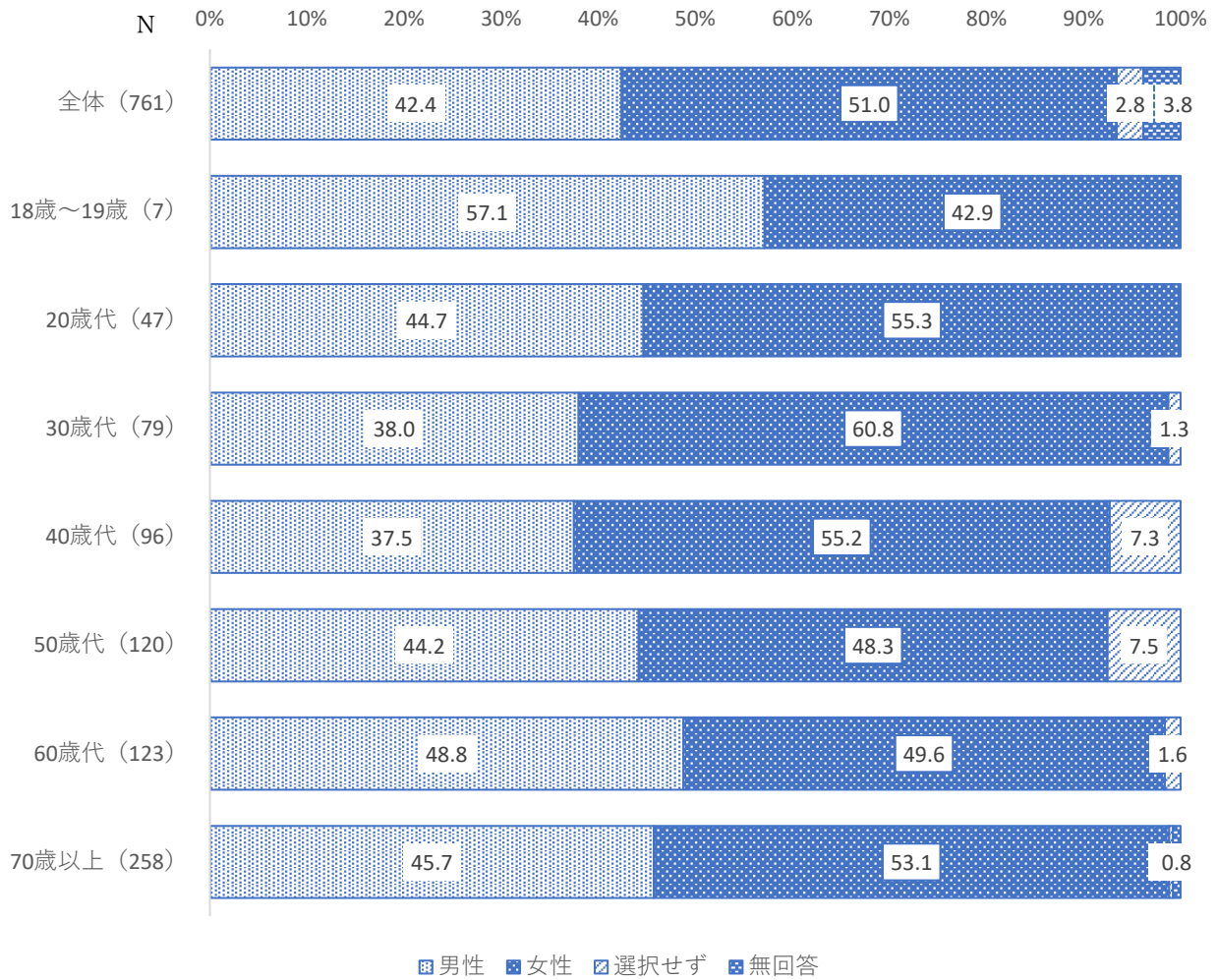
○その他 15 件(7.3%)

(障害者支援 4 件、成年後見制度 2 件、社会福祉協議会 2 件、環境 2 件、民生委員・児童委員 1 件、生活困窮 1 件、スポーツ 1 件、重層的支援体制 1 件、教育 1 件)

5. 回答者の属性

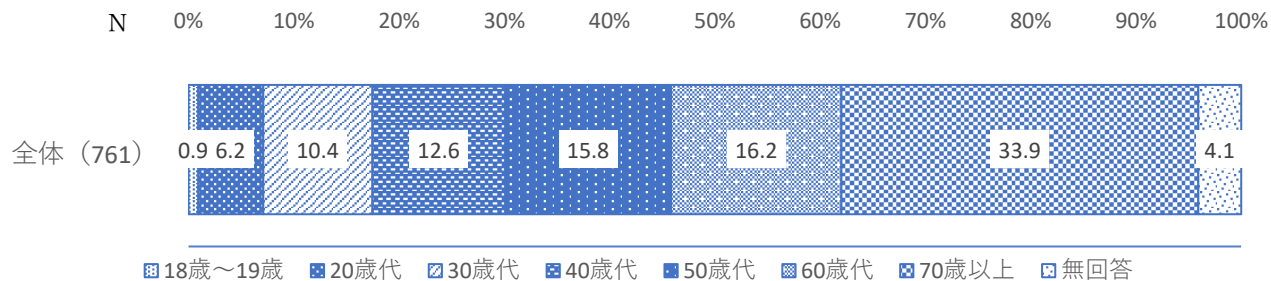
問17 あなたの性別を伺います。

全体では、「男性」が42.4%、「女性」が51.0%で「女性」の方が多い。



問18 令和7年11月1日現在のあなたの年齢を伺います。

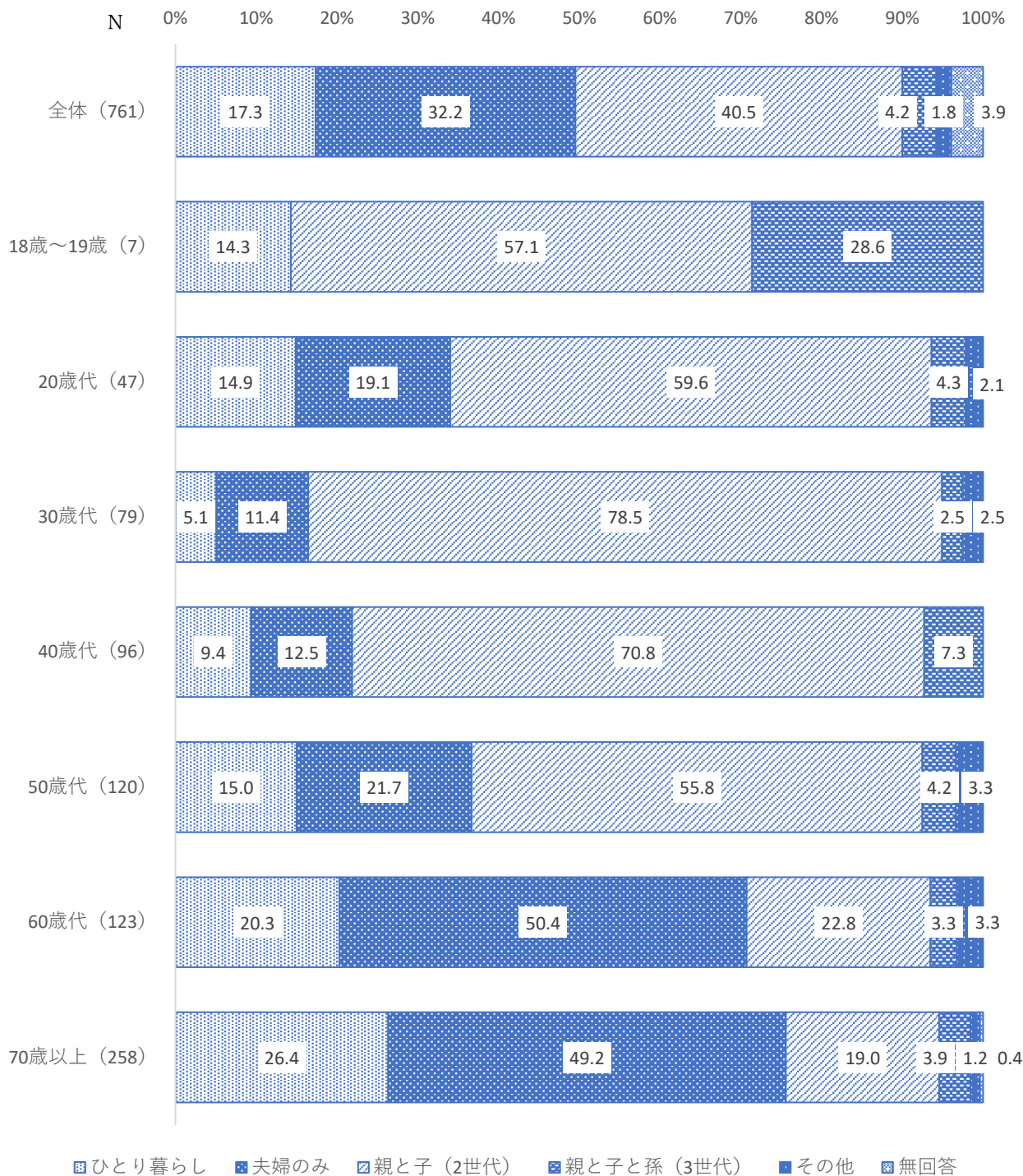
「70歳以上」が33.9%と最も多く、「60歳代」が16.2%、「50歳代」が15.8%、「40歳代」が12.6%、「30歳代」が10.4%、「20歳代」が6.2%、「18歳～19歳」が0.9%である。



問19 あなたの家族構成についてお答えください。

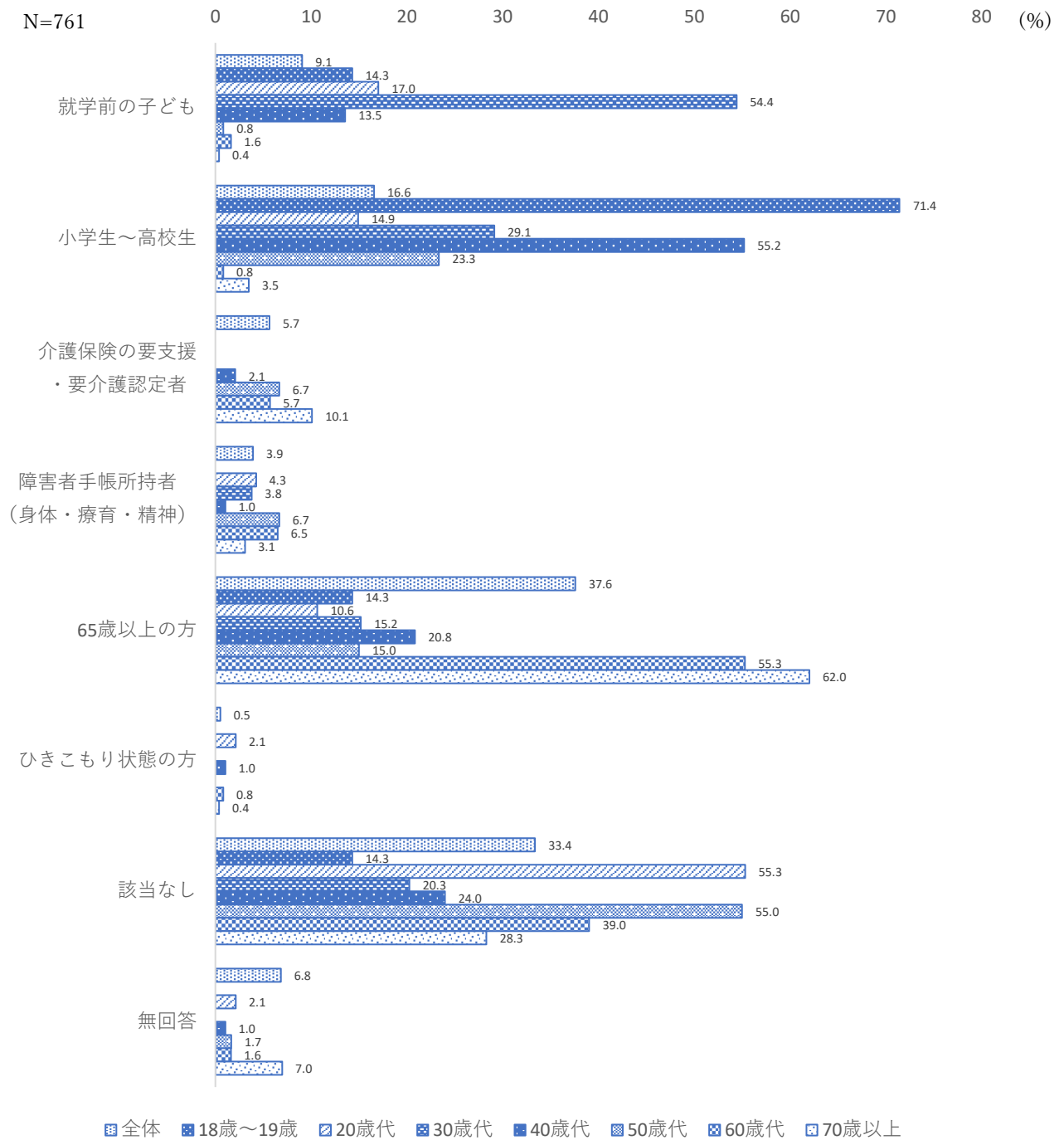
全体では、「親と子(2世代)」が40.5%と最も多く、「夫婦のみ」が32.2%、「ひとり暮らし」が17.3%である。

年代別では、30歳代、40歳代の各年代において「親と子(2世代)」が70%を超えて多く、70歳以上は「ひとり暮らし」が26.4%と他の年代に比べて多い。



問20 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。

全体では、「65歳以上の方」が37.6%と多く、「該当なし」が33.4%と続いている。
 年代別では、30歳代で「就学前の子ども」が54.4%、40歳代で「小学生～高校生」が55.2%と半数を超えて多い。



6. 参考資料

東大和市地域福祉計画に関するアンケートご協力をお願い

日頃から福祉行政にご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

東大和市は、市民の皆様が住みなれた地域で支えあい・助けあって、安心して暮らせるよう、地域福祉の更なる推進を目指して、新しい東大和市地域福祉計画(第7次)の策定準備をしています。

本アンケートはその基礎資料とするもので、無作為に抽出した18歳以上の市民の皆様2,000人を対象とさせていただいており、内容は「福祉」についての考えや地域活動の参加状況をお聞きするものです。調査は無記名式で行い、皆様からの回答はすべてコンピュータにより統計的に処理します。個人情報保護に万全を期し、地域福祉計画作成以外の目的には使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨にご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年11月

東大和市長 和地 仁美

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒のあて名のご本人について伺います。
2. 回答は、あてはまるものに✓をつけてください。✓の数は、質問ごとに「1つを選択」、「あてはまるものすべてを選択」などとそれぞれ指定していますので、ご注意ください。
3. 「その他」を選んだ場合は、()内に具体的にご記入ください。

回答期限

2025年(令和7年)12月12日(金)まで[消印有効]

回答方法

①WEB フォーム



二次元コードまたは URL から WEB フォームへアクセスし、ご回答ください。

(回答時間の目安: 10分)

または、URL: <https://logofom.jp/f/kKgEQ>

・WEBフォームによる回答の場合は、調査票(紙)の返送は不要です。

・1問目以下に下記入力番号(英数3桁)を必ずご入力ください。

※通信サービスの接続料金は利用者様の負担となります。

インターネットからご回答いただく場合の入力番号



※この番号は二重回答を防ぐためのものです。
番号はランダムで付与されており、個人を特定するものではありません。

②郵送

・紙の調査票へご記入後、同封の返信用封筒でご返送ください。

・切手は貼付不要です。

【問い合わせ先】 東大和市 健康福祉部 地域福祉課 福祉総務係

電話:042-563-2111(内線1131) FAX:042-563-5930

メールアドレス:fukushisuishin@city.higashiyamato.lg.jp

★マークのしかた

<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い
--	--

地域での暮らしや地域との関わり方について伺います。

問1 あなたは、どの程度近所づきあいをされていますか。(1つを選択)

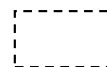
- | |
|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> よく交流する人がいる |
| <input type="checkbox"/> 顔見知り程度の人がある |
| <input type="checkbox"/> 近所づきあいはしていない |

問2 あなたは、どのようなときに地域で生活していくための市民同士の支えあい・助けあいが必要になると思いますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 高齢の親や家族を支える方法に悩むとき |
| <input type="checkbox"/> 子育てや育児で人手が足りないと感じる時 |
| <input type="checkbox"/> 障害のある方が日常生活にサポートを必要とする時 |
| <input type="checkbox"/> 買い物や通院など移動支援が必要の時 |
| <input type="checkbox"/> 災害が発生した時 |
| <input type="checkbox"/> 病気やケガで家事や仕事ができなくなった時 |
| <input type="checkbox"/> 自分や家族が犯罪や詐欺の不安を感じた時 |
| <input type="checkbox"/> 必要だと思わない |
| <input type="checkbox"/> その他() |

問3 あなたは、住んでいる地域で、日頃から心配なこと、気になることがありますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 地域の防犯・防災などの安全面 | <input type="checkbox"/> 自然環境、ごみや道路などの生活環境 |
| <input type="checkbox"/> 高齢者が安心して暮らせる環境 | <input type="checkbox"/> 障害者が安心して暮らせる環境 |
| <input type="checkbox"/> 子どもが安心して暮らせる環境 | <input type="checkbox"/> 健康に関する活動や相談できる環境 |
| <input type="checkbox"/> 地域の慣習や地域でのつきあい | <input type="checkbox"/> 日常生活での移動のこと |
| <input type="checkbox"/> 特にない | <input type="checkbox"/> その他() |



★マークのしかた

<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い
---	--

問4 高齢者や障害のある人、子どもなどが住む世帯に対する、地域による支援や協力で、あなたが必要と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

<input type="checkbox"/> 話し相手や相談相手	<input type="checkbox"/> 買い物の手伝い・代行
<input type="checkbox"/> 新聞や本の代読	<input type="checkbox"/> 食事や掃除の手伝い
<input type="checkbox"/> 外出の同行	<input type="checkbox"/> 安否確認や見守り
<input type="checkbox"/> 保育園などの送り迎え	<input type="checkbox"/> 短時間の子どもの預かり
<input type="checkbox"/> 子どもの登下校時の見守り	<input type="checkbox"/> 災害時の安否確認・避難支援
<input type="checkbox"/> 特にない	<input type="checkbox"/> その他()

問5 高齢者や障害のある人、子どもなどが住む世帯に対する、地域による支援や協力で、あなたができること(していることを含む)は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

<input type="checkbox"/> 話し相手や相談相手	<input type="checkbox"/> 買い物の手伝い・代行
<input type="checkbox"/> 新聞や本の代読	<input type="checkbox"/> 食事や掃除の手伝い
<input type="checkbox"/> 外出の同行	<input type="checkbox"/> 安否確認や見守り
<input type="checkbox"/> 保育園などの送り迎え	<input type="checkbox"/> 短時間の子どもの預かり
<input type="checkbox"/> 子どもの登下校時の見守り	<input type="checkbox"/> 災害時の安否確認・避難支援
<input type="checkbox"/> 特にない	<input type="checkbox"/> その他()

問6 あなたは、日々の生活で悩み事や不安なことはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

<input type="checkbox"/> 健康や医療のこと	<input type="checkbox"/> 経済的なこと
<input type="checkbox"/> 仕事や就労に関すること	<input type="checkbox"/> 育児に関すること
<input type="checkbox"/> 自分の介護のこと	<input type="checkbox"/> 家族の介護のこと
<input type="checkbox"/> 人間関係の悩み	<input type="checkbox"/> 災害時のこと
<input type="checkbox"/> デジタル社会への適応	<input type="checkbox"/> 特にない
<input type="checkbox"/> その他()	

問7 日々の生活での悩みや不安を、あなたは主にどこに相談しますか。(あてはまるものすべてを選択)

<input type="checkbox"/> 家族・親戚	<input type="checkbox"/> 隣近所の人
<input type="checkbox"/> 友人・知人	<input type="checkbox"/> 職場の人
<input type="checkbox"/> 医療機関	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員
<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会	<input type="checkbox"/> 自治会
<input type="checkbox"/> 高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)	<input type="checkbox"/> 市役所
<input type="checkbox"/> 相談する人がいない	<input type="checkbox"/> 相談するつもりはない
<input type="checkbox"/> その他()	



★マークのしかた

<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い
---	--

問8 あなたは、市の福祉の情報を知りたいとき、何を利用しますか。(あてはまるものすべてを選択)

<input type="checkbox"/> 市のホームページ	<input type="checkbox"/> ソーシャルメディア(SNS など)
<input type="checkbox"/> 市報や広報紙	<input type="checkbox"/> ポスターやチラシ
<input type="checkbox"/> 家族や友人からの情報共有	<input type="checkbox"/> 自治会や町内会の案内
<input type="checkbox"/> 電話や窓口で市に直接相談	<input type="checkbox"/> ケーブルテレビ
<input type="checkbox"/> 利用しない、特に知りたいと思わない	<input type="checkbox"/> その他()

地域に関わっている団体・活動について伺います。

問9 自治会をはじめとする地域の活動について、あなたのお考えや状況に最も近いものはどれですか。(1つを選択)

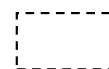
<input type="checkbox"/> できる範囲で参加する(したい)
<input type="checkbox"/> 時間があるときに(できれば)参加する(したい)
<input type="checkbox"/> 自分のことを優先したいので参加したくない
<input type="checkbox"/> つきあいがわずらわしいので参加したくない
<input type="checkbox"/> 関心がない
<input type="checkbox"/> その他()

問10 あなたは、どのような分野のボランティア活動に参加したい(できる)と思いますか。(3つまで選択)

<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 保健・医療	<input type="checkbox"/> 教育
<input type="checkbox"/> 文化・芸術	<input type="checkbox"/> スポーツ	<input type="checkbox"/> 災害・防災
<input type="checkbox"/> 人権・平和	<input type="checkbox"/> 国際	<input type="checkbox"/> 自然・環境
<input type="checkbox"/> 特にない	<input type="checkbox"/> その他()	

問11 あなたは、ボランティア活動に参加するとき、不安や心配に思うことは何ですか。(3つまで選択)

<input type="checkbox"/> 仕事や学校を休まなければならないこと	<input type="checkbox"/> 活動が無給であること
<input type="checkbox"/> 交通費等の自己負担があること	<input type="checkbox"/> 事故やトラブル時の補償のこと
<input type="checkbox"/> 初対面の人と接しなければならないこと	<input type="checkbox"/> 活動相手がどんな人かわからないこと
<input type="checkbox"/> 自分にうまくできるかわからないこと	<input type="checkbox"/> 活動に責任があること
<input type="checkbox"/> 特にない	<input type="checkbox"/> その他()



★マークのしかた

<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い
---	--

問12 あなたは、社会福祉協議会※に今後どのようなことを期待しますか。(3つまで選択)
 ※地域福祉の推進を図るために各種の福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力などを行う、営利を目的としない民間組織です。

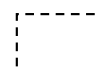
<input type="checkbox"/> 地域のつながりの強化	<input type="checkbox"/> ボランティア等活動者の育成
<input type="checkbox"/> 福祉活動・事業の企画・運営の推進	<input type="checkbox"/> 各種相談機能の充実
<input type="checkbox"/> 成年後見制度等の権利擁護の充実	<input type="checkbox"/> 福祉教育の推進
<input type="checkbox"/> 災害時対策等の推進	<input type="checkbox"/> 地域福祉の財源確保や助成の充実
<input type="checkbox"/> 高齢者や障害者の支援の充実	<input type="checkbox"/> 子育て支援の充実
<input type="checkbox"/> ひきこもり支援の充実	<input type="checkbox"/> 生活困窮者支援の充実
<input type="checkbox"/> 特になし	<input type="checkbox"/> その他()

問13 あなたは、犯罪や非行の防止及び犯罪や非行をした人たちの更生を支援するために、協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。(あてはまるものすべてを選択)

<input type="checkbox"/> 保護司	犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間ボランティア
<input type="checkbox"/> 更生保護女性会	地域の犯罪予防活動と犯罪をした人や非行のある少年の更生支援活動を行う女性ボランティア団体
<input type="checkbox"/> BBS 会	様々な立場の少年に、立ち直りや自立を支援するとともに、非行防止活動を行う青年ボランティア団体
<input type="checkbox"/> 更生保護施設	矯正施設を出た人や保護観察を受ける人で、自立更生が難しい人に宿泊や食事を提供し、就職や生活指導を通じて社会復帰を支援する民間施設
<input type="checkbox"/> 協力雇用主	犯罪や非行をした人たちを積極的に雇用し、その立ち直りに協力する民間の事業主
<input type="checkbox"/> どれも知らない	

問14 保護司等の活動への協力について、あなたはどのように思いますか。(1つを選択)

<input type="checkbox"/> 積極的に協力したいと思う
<input type="checkbox"/> できれば協力したいが、自分にできることがわからない
<input type="checkbox"/> 必要性は感じるが、具体的な協力は難しい
<input type="checkbox"/> 協力する必要はないと思う
<input type="checkbox"/> わからない



★マークのしかた

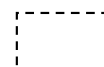
<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い
--	--

問15 防災対策として地域の活動で重要だと思うことは何ですか。(3つまで選択)

<input type="checkbox"/> 相互に安否を確認できる体制づくり	<input type="checkbox"/> 災害時に支援が必要な人の情報の共有
<input type="checkbox"/> 日頃からの避難や救助の練習	<input type="checkbox"/> 地域の避難場所の共有
<input type="checkbox"/> 被災者への支援	<input type="checkbox"/> 日頃の近所づきあい
<input type="checkbox"/> 特にない	<input type="checkbox"/> その他()

これからの福祉のために必要なことを伺います。

問16 市民同士の自主的な支えあい・助けあい、福祉サービスの充実、地域の困りごとなど、地域福祉に関するご提案やご意見をご記入ください。



東大和市
地域福祉計画に関するアンケート
報告書

令和8年3月

発行 東大和市 健康福祉部地域福祉課
東京都東大和市中心3丁目930番地